

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公表番号】特表2004-533638(P2004-533638A)

【公表日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-043

【出願番号】特願2002-582042(P2002-582042)

【国際特許分類第7版】

G 02 B 6/00

【F I】

G 02 B 6/00 3 5 6 Z

G 02 B 6/00 3 7 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月2日(2003.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学結晶導波路ファイバプリフォームの製造方法であって、

a) 光学結晶の第1の部分を形成する第1の複数のチューブであって、前記第1の複数のチューブのうちの第1のチューブのグループは前記チューブの円周方向に沿って変化する壁厚さを有して前記チューブの薄壁部分及び厚壁部分を与え、前記第1の複数のチューブを束ねて前記チューブの隣接したもの同士の前記薄壁部分を互いに当接させるステップと、

b) それぞれが実質的に均一な壁厚さを有する第2の複数のチューブを前記束のまわりに集めて前記光学結晶の第2の部分を形成するステップと、

c) 前記第1の複数のチューブ及び前記第2の複数のチューブの壁をエッチングして、当接した前記薄壁部分をエッチングして光学結晶に欠陥を形成するステップと、を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記第1の複数のチューブと前記第2の複数のチューブは長軸を有し、前記チューブの長軸に対して垂直方向に前記光学結晶を通る断面内において、隣接したチューブの薄壁部分の互いに当接する点を接続したラインが連続しており且つそれ自体で閉じていることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記点を接続したラインが実質的に対称形の幾何学的图形であることを特徴とする請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記第1の複数のチューブの前記チューブの前記グループの各々のチューブは、中心を有する外壁面と中心を有する内壁面とによって特徴づけられ、前記外壁面の中心は前記内壁面の中心から離間していることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記外壁面及び前記内壁面はそれぞれ円形及び多角形からなるグループから選択されることを特徴とする請求項4記載の方法。

